

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

(公財) 東京都公園協会

2 実施日時

令和元年7月5日(金) 11時21分～11時43分

3 出席者

- ・団体側出席者：佐野理事長、五十嵐常務理事、古川公園緑地部長(建設局)
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

六義園などは、名勝として知られているが、これからもインスタグラムで発信する人などの視点も踏まえ、それぞれの公園でいろいろな特徴のある花を生かしてもらいたい。

○佐野理事長

承知した。これまでも、この季節にこの花がこの公園で見られるというカレンダーを作っていたが、さらに花を生かした発信できるように工夫していきたいと思う。

○小池知事

例えば、大阪天王寺公園の“てんしば”のように民間のノウハウを取り入れることで、来園者が大幅に増えた事例もある。公園は、資産を眠らせるのではなく、生かせるように、いろんな意見を聞きながら実践してほしい。

○佐野理事長

エリアマネジメント協議会があることで、地元の方々と事前に情報共有ができ、地元の人が賛同してくれると、現場の事務所も積極的な取組を進めやすくなる。集客効果や収入面でも期待できれば、地元企業等が参画してくれる可能性も出てくる。

今年度は3つだが、来年以降も取組は続け、主要な都立公園についてはエリアマネジメント協議会を立ち上げていきたい。

○小池知事

世界の公園では銅像やモニュメントを飾ったり、アール・ブリュットを展示したりして、すばらしいアートを形成している事例も多い。そうした場があれば、その作者たちの励みになり、東京の財産にもなると思う。

○五十嵐常務理事

上野恩賜公園の一角には、東京藝術大学生の卒業制作の優秀作を展示するコーナーがあり、好評を博している。知事のご提案のようなことを、他の公園でも展開できるように検討していきたい。

○小池知事

日比谷公園では園内でイベントやっけていても何をしているか分かりづらい。外から見ても情報が分かるように工夫があるとよい。

○遠藤総務局長

東京2020大会を控え、各国が自国の紹介したりなどの需要が出てくると思うが、その辺りの基本的な考え方はどうか。

○五十嵐常務理事

オリンピック・パラリンピック準備局から、日比谷の小音楽堂を中心に各国の紹介のイベントを展開したいと聞いているので、公園管理者サイドとしても協力をしていきたいと考えている。